

“SANCHEZ”

Making the Kind that Turn Heads



サンチェス：皆を振り向かせる牛を作出 <後編>

Holstein Journal 2013 年 9 月

著：Bonnie Cooper

オンタリオ州ヘイスティングス所在のキングスウェイ ファームのゴードとポーリーン マクミラン、そして彼らの子であるモーゴン、イーサン、エマは、ロイヤル ウィンター フェアの未経産クラスで過去四年間プレミア ブリーダーを獲得している。この偉業において大きな役割を成しているのが“サンチェス”である。事実、昨年のロイヤルにおいて、ジュニア ブリーダーズ ハード（未経産牧場牛群）で勝利を収めたのは、全て“サンチェス”娘牛から成るものだった。

「サンチェスが最初に現れた時、我々は彼を使うことを決めた。それは彼が持つ後乳房、サイズ、そして体積の究極の数値が理由だった」とモーゴン マクミランは言う。「我々はまた、彼が“ゴールドウィン”娘牛に良い交配になるだろうと考えた。」今日キングスウェイ ファームには 25 頭以上のサンチェス娘牛がおり、その多くは搾乳中である。「これらのほとんどが高得点のベリーグッドで、現在二産目の彼女たちが平均以上の搾乳能力を持つという素晴らしい成功を我々は得ている。」とマクミランは言う。「我々の“サンチェス”娘牛は雄大で体積がある牛で、多くの幅と良く付着した乳房を伴う。我々は、もし血統に未だ“ゴールドウィン”が入っていなければ、雌牛らしさや骨質、骨の鮮明さを加えるため、“ゴールドウィン”もしくは“ゴールドウィン”息牛を取り入れるように試みている。」

この三年間、キングスウェイの冠名はオールカナディアンオープンもしくは 4H 未経産クラスにノミネートされた六頭の“サンチェス”娘牛の名前に現れている。これらのスタイリッシュな未経産牛は、三つのオールカナディアン、二つのリザーブ、二つのオナラブル メンション（以下、HM）を獲得している。六頭全てが現在搾乳中で、二歳でベリーグッドになっている。その中に、2010 年 4H シニア カーフの HM オールカナディアンになり、二歳の時に乳量 11,445kg、脂肪 3.7%、蛋白 3.2% (241-237-236) を生産したキングスウェイ サンチェス カウガール (VG89-3YR) と、2010 年 4H サマー イヤリングのオールカナディアンにノミネートされ、二歳記録を乳量 11,019kg、脂肪 3.5%、蛋白 3.0% (235-221-219) で終えたキングスウェイ サンチェス リップスティック (VG88-初産) がいる。これら若牛の両方が十世代連続ベリーグッドもしくはエクセレントを成し遂げている。

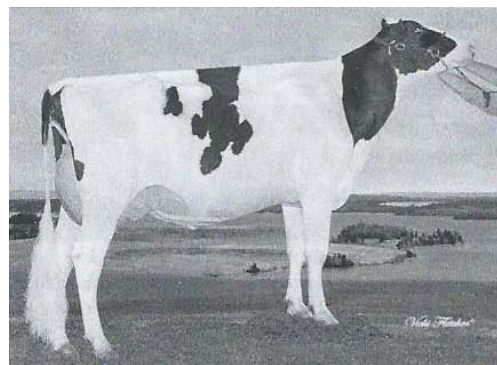
ノミネートされたキングスウェイの“サンチェス”娘牛の内の三頭は、2006 年のシニア三歳リザーブ オールカナディアンである“テラソン”娘牛、キングスウェイ テラソン アリー (EX95-2E-2*) へと遡る。その三頭には、2010 年 4H ジュニア カーフのオールカナディアン及びオープンのリザーブ オールカナディアン、2011 年 4H ジュニア イヤリングのオールカナディアン及びオープンの HM オールカナディアンで、一歳記録として乳量 10,641kg、脂肪 4.4%、蛋白 3.6% (258-302-284) を持つキングスウェイ サンチェス アランガタン (VG87-2YR)、2011 年 4H インターメディアイト カーフのオールカナディアン及びオープンのオールカナディアン ノミネート、2012 年イン

ターミディエイト イヤリングの HM オールカナディアンで、乳量記録 11,468kg、脂肪 3.1%、蛋白 3.1% (283-233-278) が予測されているキングスウェイ サンチェス アルマジロ (VG86-2YR)、2011 年 4H インターミディエイト カーフのオールカナディアンにノミネートされ、209-205-223%BCAの予測をオーナーであるオンタリオ州カユガのロイヤル リン ホルスタインズにもたらす、キングスウェイ サンチェス アルマナック (VG86-2YR) が含まれる。

もう一頭のキングスウェイ繁殖による“サンチェス”娘牛で、昨年多くの注目を集めたのが、キングスウェイ サンチェス マジシャン (VG87-2YR) で、彼女はロイヤル ウィンター フェア及びエキスポ インターナショナル ホルスタイン ケベック (EIHQ) のシニア イヤリング一席、及びケベック スプリングのジュニア チャンピオンである。彼女はその後、そのオーナーである JM バレー ホルスタイン (ケベック州アムキー)、コームデール ジェネティクス Inc. (オンタリオ州ベサニー)、ファーム ジェンドロ (ケベック州リモウスキー)、そしてドナルド デュボワ&フランス レミュー (ケベック州プリンスビル) にシニア イヤリングのリザーブ オールカナディアン及びリザーブ オールアメリカンをもたらした。彼女は現在、乳量 10,456kg、脂肪 5.1%、蛋白 3.4% (251-267-267) が予測されている。昨年のロイヤルでマジシャンは、アルマジロ (インターミディエイト イヤリング二席) と、ウェルクロフト ファームズ Ltd.、ロナルド C. ウェリー、キャスクレスト ホルスタインズ (オンタリオ州オシャワ) 及びデレック リー (オンタリオ州リトル ブリテン) によって所有されるインターミディエイト イヤリング七席のキングスウェイ サンチェス アルパカ (VG85-2YR) と共に、キングスウェイのジュニア ブリーダーズ ハードの勝利を支えた。オールオンタリオにノミネートされたアルパカは、二歳で 216-237-230% BCA が予測されている。

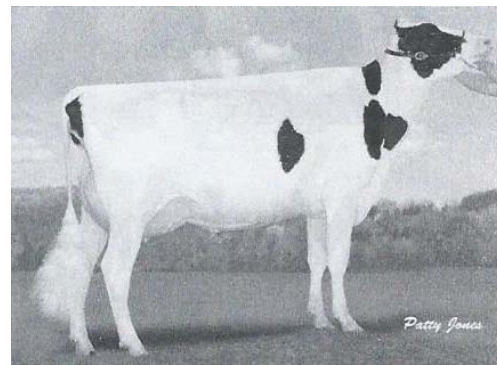
“サンチェス”と共に素晴らしい成功を収めているケベック州の牧場が、ケベック州セント フラビエン所在のローランド “ロリー” デュボワとその息子マーク アンドレによって所有されるファーム ローランデール Enr. (冠名ジョリボワ) である。「我々は “サンチェス” の母系への “ストーマティック” の交配が好きで彼を使い始めた」とロリー デュボワは言う。「パワフルな良い牛でありながら若干乳用性に欠けると我々が考えたエモリー ヒラリー ファミリーに由来するため、“ストーマティック” がこの配合に雌牛らしさを加え、非常にバランスの良くとれた牛を作出するだろうと考えた。また当時 “ゴールドウィン” はホットな種雄牛で、我々には何か違ったものを使う、もしくは我々の “ゴールドウィン” 娘牛に何か違ったものを交配する必要があった。“サンチェス” はまた非常に良い成績を持っていた。ショー カウを生産する素晴らしい高さと共に、特にその後乳房の幅と高さの成績が良かった。」

デュボワ一家は約 15 頭の “サンチェス” 娘牛を産ませている。彼らはそのいくらかを販売した。それには彼らの地元のホルスタイン クラブのセールにおいて昨年最高値で取引され、現在二歳 VG87 になった一頭が含まれる。デュボワ一家は現在、彼らの 45 頭牛群で九頭の “サンチェス” 娘牛を搾っている。八頭は二歳でベリーグッドになり (88 点一頭、87 点三頭、86 点二頭、85 点二頭)、もう一頭はこれから審査される場所である。八頭中四頭は現



キングスウェイ サンチェス カウガール (VG89-3YR)

キングスウェイ ファームズ (オンタリオ州ヘイスティングス) によって繁殖・所有されるこの “サンチェス” 娘牛は、2010 年 4H シニア カーフの HM オールカナディアンである。十世代目のベリーグッドもしくはエクセレントである彼女は、二歳 365 日換算で乳量 11,445kg、脂肪 3.7%、蛋白 3.2% (241-237-236) を記録する。



キングスウェイ サンチェス アルマジロ (VG86-2YR)

キングスウェイ テラソン アリー (EX95-2E-2*) ファミリーから来るこの “サンチェス” 娘牛は、2011 年の 4H インターミディエイト カーフのオールカナディアン、そしてオープン of オールカナディアンにノミネートされ、2012 年にはインターミディエイト イヤリングの HM オールカナディアンになった。キングスウェイ ファームズ (オンタリオ州ヘイスティングス) によって所有される彼女は、初産記録で乳量 11,468kg、脂肪 3.1%、蛋白 3.1% (283-233-278) が予測されている。

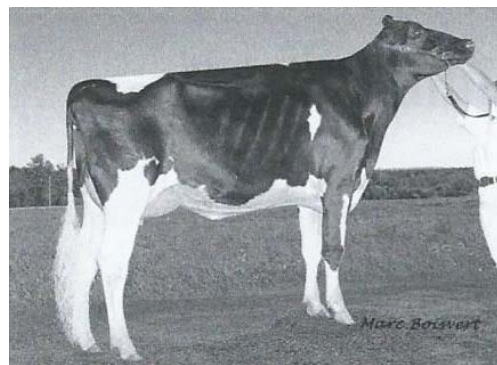
在二度目の分娩を終え、再び審査を受けた。二歳 88 点と 87 点の内の一頭は VG89 になり、85 点だった二頭は VG87 と VG88 になっている。

「我々の“サンチェス”娘牛は、完璧な後乳房を伴う雄大でパワフルな牛である」とロリー デュボワは言う。「多くの種雄牛のように、彼は“ゴールドウィン”娘牛に交配して素晴らしい結果を生むことができるが、我々はまた、彼の“リスター”、“チャンピオン”、“ダンディー”娘牛への交配からも優れた結果を得ている。」注意が必要な分野は脂肪率 (%) と時に骨質だと、彼は言う。「“サンチェス”娘牛の体細胞数について不満を言うブリーダーもいるが、我々にとっては決して問題でない」と彼は言い、こう続ける。「我々の娘牛の乳頭がもう少し小さくて短ければ良いと思う場合でも、彼女たちはいつも搾り切りがよい。」デュボワは彼らの“サンチェス”娘牛を“レジナルド”や“ウィンドブルック”、“シド”と交配している。「どの“ゴールドウィン”血液も彼女たちに良く合うだろう。なぜなら彼女たちはたくさんの強さと肋の開張を持っているからである」と彼らは言う。

ファーム ローランデルのスペシャルな“サンチェス”娘牛の中に、ジョリボワ ルシンダ サンチェス (VG89-3YR) とジョリボワ ナンシー サンチェス (VG89-3YR) がいる。昨年ルシンダは、ロトビニエールでジュニア二歳一席、ロイヤルでは 13 席、一方ナンシーはロトビニエール エキスポでシニア二歳一席、エキスポ インターナショナル ホルスタイン ケベック (EIHQ) では八席だった。「彼女たちは初産としてはややデイリーさに欠けるが、彼女たちは以前も今も完璧な乳器をしている。彼女たちは今また分娩し、二産目としての最高得点を獲得し、秋のショウに向けてのプログラムに組まれている」と、デュボワは言う。8月2日に行われた今年のロトビニエール エキスポでは、ルシンダはジュニア三歳の一席になり、リザーブ インターミディエイト チャンピオン及びリザーブ グランド チャンピオンの称号を得た。

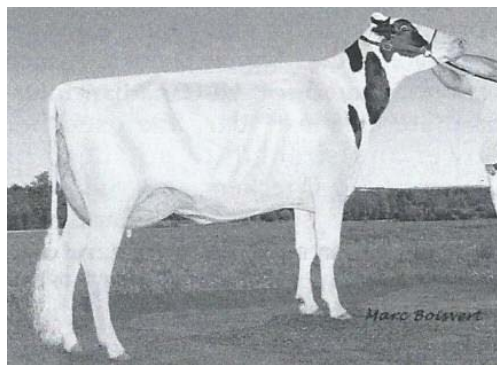
両頭とも素晴らしいカウ ファミリーから来ている。二歳で 254-215-255%BCA を記録したルシンダは、リンデノード ルドルフ ライラック (EX96-3E-11*) の EX93 の“ゴールドウィン”娘牛から誕生した。ルドルフ ライラックは 2010 年のホルスタイン カナダの“カウオブザイヤー”で、2004 年の成牛オールカナディアンになった“ルドルフ”娘牛である。二歳で乳量 13,083kg、脂肪 3.9%、蛋白 3.3% (287-299-297) を生産したナンシーは、九世代連続ベリーグッドもしくはエクセレントを成し遂げ、牛舎で一番古いジョリボワの血液に遡る。「ルシンダとナンシーは単に良い牛であるのではなく、彼女たちは我々がこれら二つの素晴らしいファミリーからこれまでに得てきた結果の上の改良である」と、デュボワとその息子は言う。

彼らが楽しみにしているもう一頭の“サンチェス”が、九月に分娩予定のデュボワ ドット サンチェス (VG86-2YR) である。EX93-2E の“ダンディー”を母に持つ彼女は、1999 年の五歳オールカナディアン及びオールアメリカンで、ワールド デイリー エキスポのリザーブ グランド チャンピオンを彼らにもたらした“スカイチーフ”娘牛、エコー リッジ スカイチーフ ディライト (EX-4E-5*) に遡る。もし全てが上手くいけば、デュボワ一家は今秋の



ジョリボワ ルシンダ サンチェス
(VG89-3YR)

2013年ロトビニエール エキスポでジュニア三歳一席、リザーブ インターミディエイト チャンピオン及びリザーブ グランド チャンピオンをファーム ローランデル Enr. (ケベック州セント フラビエン) にもたらした。ルシンダはリンデノード ルドルフ ライラック (EX96-3E-11*) の“ゴールドウィン”娘牛 EX93 から誕生した。ルドルフ ライラックは、2004 年の成牛オールカナディアン及び 2010 年のホルスタイン カナダの“カウオブザイヤー”の“ルドルフ”娘牛である。



ジョリボワ ナンシー サンチェス
(EX89-3YR)

この“サンチェス”娘牛は、九世代連続のベリーグッドもしくはエクセレントを成し遂げ、2012 年のロトビニエール エキスポにおいてシニア二歳一席になった。ファーム ローランデル Enr. (ケベック州セント フラビエン) の八頭のベリーグッド“サンチェス”娘牛の一頭である彼女は、二歳で乳量 13,083kg、脂肪 3.9%、蛋白 3.3% (287-299-297) を生産した。

ショウのブリーダーズ ハードで彼らが持つ最も優れたカウ ファミリーの内の三つから誕生した三頭の“サンチェス” 娘牛を出品することになる。

「我々の“サンチェス” 娘牛は素晴らしい五歳そして成牛になるだろう！」と、ロリー デュボワは予測する。「彼女たちは皆が二歳に期待するほどのデイリー マシーンではないが、全てが正確で、完璧な乳器を持つ。彼女たちは基本的に、ショウリングを支配している“ゴールドウィン” 娘牛に比肩するようになるには、ただもう少し時間が必要なだけである。」

感心させ続ける

“サンチェス” がもはや精液を生産していない一方、彼は世界各地の多くの市場で非常に人気であり続けている。セレクト サイアーズは“サンチェス” 息牛数頭をサンプルにかけている。ブライアン ギャリソン曰く最も人気のある一頭は、レーガンクレスト GV S ブラッドニック ET (EX94-USA) である。“ブラッドニック” は PTA 体型 +4.05、乳量+1366 ポンド (1239kg) の成績を米国で持つ (2013 年 8 月)。彼は著名な“ダーハム” 娘牛、レーガンクレスト PR バービー ET (EX92-USA-DOM-GMD-5*) の“ショトル” 娘牛から来ている。

今日のホルスタイン品種において最も確実な体型改良種雄牛の一頭であるジェン マーク ストーマティック サンチェスは、確かにプラスの影響を持ちショウリングで記憶に残る子孫を作出する種雄牛である。セレクト サイアーズのブライアン ギャリソンが言うように、「私は“サンチェス” が、ショウリングに正しい類の牛を作出するベストな種雄牛の一頭として使われ、認められる種雄牛であり続けると信じている。我々が現在見る素晴らしい若牛は後の産次においても人々を感心させ続ける類の牛である。」 ■